

※ H29.8.7 「1、(2) 業務担当者の能力」の各表下中、兼務の場合の減点処理の記述を訂正。

※ H29.8.8 「1、(2)、ウの表中、係数(満点)の数値を訂正。

焼津市新庁舎建設コンストラクション・マネジメント業務委託プロポーザル 客観審査 評価要領

1 採点方法

次の算式により、評価項目ごとに採点し、評価点数とする。

$$\text{評価点数} = \text{配点数(満点)} \times \text{係数合計(採点)} \div \text{係数合計(満点又は上限)}$$

※ 小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを評価点数とする。

(1) 参加者の概要

ア 参加者に所属する技術者の技術資格

参加者に所属している技術者の各技術資格について、次により評価する。

技術資格	係数	× 人数
認定コンストラクションマネージャー(以下「CCMJ」という。)	1.0	
一級建築士	0.8	
構造設計一級建築士	1.0	
設備設計一級建築士	1.0	
建築設備士	0.8	
技術士(電気電子・衛生工学・機械)	0.8	
一級建築施工管理技士	0.5	
一級電気工事施工管理技士	0.5	
一級管工事施工管理技士	0.5	
建築コスト管理士	0.5	
建築積算士	0.5	
CASBEE建築評価員	0.5	
認定ファシリティマネージャー(CFMJ)	0.5	
係数(上限)		100.0

イ 参加者の業務実績

参加者のCM業務実績について、次により評価する。

業務	係数	×	規模(面積)	係数	×	CM業務段階	係数	× 件数
同種業務	1.0		15,000 m ² 以上	1.0		3段階	1.0	
類似業務	0.8		8,000 m ² 以上	0.8		2段階	0.8	
その他	0.0		15,000 m ² 未満			1段階	0.5	
係数(満点)								5.0

※「CM業務段階」は、「設計段階」、「発注段階」(施工者選定)、「施工段階」をカウントし、その他の業務段階のみの場合は「1段階」とする。

(2) 業務担当者の能力

ア 配置担当者の技術資格

各配置担当者の技術資格について、次により評価する。

業務分野	評価する技術資格	係数
管理技術者	CCMJ かつ一級建築士	2.0
	〔加算〕 一級建築施工管理技士	0.5
	〔加算〕 技術士（建設部門）	0.5
	〔加算〕 建築設備士	0.5
	〔加算〕 建築コスト管理士	0.5
建築（総合）	CCMJ かつ一級建築士	2.0
	CCMJ	1.0
	一級建築士	1.0
	〔加算〕 一級建築施工管理技士	0.5
	〔加算〕 技術士（建設部門）	0.5
	〔加算〕 建築設備士	0.5
	〔加算〕 建築コスト管理士	0.5
構造	構造設計一級建築士	2.0
	一級建築士	1.0
	〔加算〕 CCMJ	0.5
	〔加算〕 その他の資格（1つまで）	0.5
電気設備	建築設備士	2.0
	設備設計一級建築士	2.0
	一級建築士	1.0
	〔加算〕 CCMJ	0.5
	〔加算〕 技術士（電気電子部門）、一級電気工事施工管理技士	0.5
機械設備	建築設備士	2.0
	設備設計一級建築士	2.0
	一級建築士	1.0
	〔加算〕 CCMJ	0.5
	〔加算〕 技術士（衛生工学部門又は機械部門）、一級管工事施工管理技士	0.5
建築コスト管理	建築コスト管理士	2.0
	建築積算士	1.0
	一級建築士	1.0
	〔加算〕 CCMJ	0.5
	〔加算〕 その他の資格（1つまで）	0.5
工事施工計画	一級建築施工管理技士	2.0
	一級建築士	1.0
	〔加算〕 CCMJ	0.5
	〔加算〕 その他の資格（1つまで）	0.5
係数（上限）		23.0

※ 〔加算〕以外の項目は、いずれか一つの資格を評価する。

※ 〔加算〕の項目で複数の資格を掲げているものは、いずれか一つの資格を評価する。

※ 「その他の資格」は、前記「1、(1)、ア 参加者に所属する技術者の技術資格」の表に掲げる資格のうち、この表の各配置担当者の評価対象に掲げていない資格とする。

※ 他の業務分野を兼務する場合は、担当分野の係数合計に0.8を乗ずる。

イ 配置担当者のCM業務実績

各CM業務実績について、次により評価する。

① 管理技術者

業務	係数	×	規模（面積）	係数	×	技術者の立場	係数	×	CM業務段階	係数	× 件数
同種	1.0		15,000 m ² 以上	1.0		管理技術者	1.0		3段階	1.0	
類似	0.8		8,000 m ² 以上	0.8		主任担当者	0.5		2段階	0.8	
その他	0.0		15,000 m ² 未満			その他	0.25		1段階	0.5	
係数（満点）											5.0

※「管理技術者」は、これと同等の総括責任者、管理責任者等を含む。

※「CM業務段階」は、「設計段階」、「発注段階」（施工者選定）、「施工段階」をカウントする。

② 各主任担当者

業務	係数	×	規模（面積）	係数	×	技術者の立場	係数	×	CM業務段階	係数	× 件数
同種	1.0		15,000 m ² 以上	1.0		管理技術者	1.0		3段階	1.0	
類似	0.8		8,000 m ² 以上	0.8		同等主任担当者	1.0		2段階	0.8	
その他	0.2		15,000 m ² 未満			その他	0.2		1段階	0.5	
係数（満点）											5.0

※「同等主任担当者」とは、当該実績における主任担当者の業務分野が本業務における業務分野と同じである場合をいう。

※他の業務分野を兼務する場合は、係数合計に0.8を乗ずる。

※「CM業務段階」は、「設計段階」、「発注段階」（施工者選定）、「施工段階」をカウントする。

ウ 主任担当者の建築CPD取組状況

各主任担当者の建築CPD実績について、次により評価する。

建築CPD実績	係数	× 人数
12単位以上	1.0	
6単位以上12単位未満	0.8	
取得単位あり6単位未満	0.4	
取得単位なし	0	
係数（満点）		6.0

※1認定時間＝1単位とする。

※他の業務分野を兼務する場合は、係数に0.8を乗ずる。

2 選定方法

合計評価点数が高い上位者5者を総合審査対象者として選定する。合計評価点数が同一となった場合は、次の評価項目の優先順位により、評価点数の高い者から上位者とする。ただし、審査会においてこれにより難いと認めたときは、審査会の判断によるものとし、この限りでない。

優先順位1：配置担当者の能力

優先順位2：配置担当者のCM業務実績

優先順位3：管理技術者及び建築（総合）主任担当者のCM業務実績